

交通安全

9月21日から30日まで、秋の全国交通安全運動が行われました。期間中は、交通安全協会、各地区交通安全推進指導員、役場職員交通安全会を中心に学校周辺や通学路の横断歩道で街頭啓発活動を行い、児童・生徒の安全確保をしました。また、広報車・パトカーによる巡回督励も行われました。



■シートベルト着用調査
24日、国道142号芦田地籍で調査した結果、運転席の着用率が100%、助手席の着用率は85・7%でした。シートベルトは「命綱」です。すべての座席で、正しく着用しましょう。

■夜間における高齢者交通安全教室
25日、佐久川西自動車学校で開催された高齢者交通安全教室に老人クラブ連合会の方に参加いただきました。夜間のコースを利用し、車両のテールランプの高さや明るさによって遠近感が正確になることや、車のライトの角度によって横断する歩行者が全く見えなくなる蒸発現象など、夜間の視認特性について学びました。

新しい風(町長コラム) ②

米村匡人

今年も、「敬老の日」の式典に多くの皆様に出席して頂きました。

立科町では、今年100歳を迎えられた方が6名いらっしゃいましたが、式典には参加できませんでしたので、ご自宅等へお祝いに伺い、お会いしてきました。100歳を迎えられた方々がお生まれ

になられた大正4年(1915年)には、国内の主な出来事として大正天皇の即位の礼が行われ、また、第1回全国中学校野球大会が行われています。その他には、焼岳の大爆発により大正池ができ、森鷗外が「山椒大夫」、芥川龍之介が「羅生門」を発表、米国製チューインガムが発売されました。

立科町の最高齢者は101歳の方で、100歳の方々と合わせ7名の方が元気に過ごされていることは、大変喜ばしいことであります。

町民皆様が、安心して暮らせる町づくりに力を注いでいかなければならないと改めて感じました。

街頭啓発活動 (30日、ツルヤ立科店)



交通指導所の開設 (30日、浅科道の駅)



チャイルドシート着用推進活動

30日、たてしな保育園で園児、保護者の皆さんにチラシ・グッズを配布しチャイルドシート着用を呼び掛けました。併せて、設置状況調査を行いました。チャイルドシートの設置されていない車も見受けられました。

小さな子どもは、シートベルトでは事故の際、衝突の瞬間に体がベルトをすり抜け、車の天井に頭をぶつけることや、車外放出などの危険が予想されます。しっかり着用しましょう。

